

京都第二赤十字病院職員における 新型コロナウイルス感染者の発生について (第4報)

令和2年8月14日

京都第二赤十字病院長 小林 裕

7月30日に当院看護師1名が、新型コロナウイルスに感染していることが判明したことに関連し、当該看護師および接触者に対し、PCR検査で陰性を確認し、対象者にはその後も慎重な健康観察を進めてまいりました。14日間の経過後も健康上、特に問題となる対象者は認めませんでしたので、ここにご報告いたします。

引き続き、感染予防対策に万全を期しながら、診療を継続してまいります。